

【議 事】

1. 令和元年度鶴見区ボランティアセンター下半期事業報告について
資料P1～3に基づき事務局より報告。

資料1

1. 令和元年度ボランティアセンター下半期事業報告について
(令和元年10月1日～令和2年3月31日)

事業	目的・内容	開催時期
聴き上手講座	外部講師を呼び、話し相手としてボランティアをする上でも、役立つポイントを教えていただく講座を開催しました。	令和元年12月2日(月) 参加者:26名 新規登録者:3名
広報紙の発行	ボランティア情報紙 「つるボラ情報」を発行しました。 11月発行 内容:担当職員によるボランティア体験記、 ボランティア・イベント情報等 2月発行 内容:春のボランティア体験会のお知らせ・あいねっと推進フォーラム等	令和元年11月発行 令和2年2月発行
ボランティア・ 市民活動団体分科会	【定例会の開催】 団体が意見交換をできる場として、 また、事務局からの情報提供の場として開催しました。	令和元年11月21日(木) 令和2年 1月16日(木) 2月20日(木) 3月19日(木)
あいねっと推進 フォーラムでの ボランティアコーナー	広く鶴見区民にボランティア活動の情報提供や善意銀行などについて普及啓発を行い、ボランティア活動者の発掘を目的に実施します。	令和2年2月22日(土)
福祉教育	学校・企業・地域などからの依頼に基づき、プログラムの提案や講師の紹介をしました。	小学校6校 中学校4校 計10校
つるみ福祉教育通信	区内で実施可能なプログラムの紹介、福祉教育における課題等の共有・意見交換、情報提供などを行う広報紙を発行し各学校に配布します。	令和2年3月発行予定
横浜商科大学 ボランティア活動演習	横浜商科大学1～4年生の授業の一環としてボランティアに関する授業に協力し、中間報告会では、活動先での体験を履修者間で共有しました。最終報告会では、振り返りをワークショップ形式で実施しました。	中間報告会 令和元年10月10日(木) 最終報告会 令和2年1月28日(火) 履修者:10名

質問・意見

- ・星野副委員長

横浜商科大学でのボランティア活動演習に関して

最近では、パラスポーツも広がっている。大学でボランティア授業を組み込むのは難しいと思うが、鶴見区社協では大学と連携を図り行っているのであろう。

鶴見区社協と横浜商科大学でのボランティア活動演習の一例は、他の大学でボランティア授業を実施する際の参考となるのではないか。

- ・谷委員

福祉教育の報告に関して

地域ケアプラザでは、福祉教育後の事後学習として学生を受け入れることもあるため、学校でどのような福祉教育を行っているのか教えてほしい。地域とも連携を図り細分化できるとよいのではないか。

- ・菊委員

ポッチャの物品の貸出に関して

福祉教育の1つとしてポッチャのプログラムを取り入れているのは非常によいと思う。地域の学校でポッチャを行うのは楽しみでもある。また、ポッチャを日常的に行う場所は限られている。物品の貸し出しに関して、社協で購入をしてもらえると助かる地域もあるのではないか。

- ・大野委員長

平安町においても、ポッチャの活動は盛んになってきている。

- ・須佐委員

グラウンドゴルフの活動も高まってきている。

→地域活動のニーズを把握しつつ、物品の購入に関しては検討していく。

2. 鶴見区ふれあい助成金、つるみ善意銀行助成金配分について
資料P4～11に基づき事務局より説明し、追認された。

資料2

鶴見区ふれあい助成金・つるみ善意銀行助成金 配分報告
(要綱に基づき会長専決を行ったもの)

①鶴見区ふれあい助成金

【新規立ち上げ】12月申請

NO	区分	合計	団体名	会員種別
1	集いの場	40,000	かふえ処あらかち	非会員
申請事業	新規立ち上げ事業 集いの場			
目的	地域カフェの運営（地域の方が気軽に集える場づくり。コーヒーを通して交流をはかる。）			
年間実施回数	3回（R2.1月から毎月1回）			
人数平均	20名			
場所	荒立自治会館			

【新規立ち上げ】12月申請

NO	区分	合計	団体名	会員種別
2	集いの場	40,000	ひの木カフェ	非会員
申請事業	新規立ち上げ事業 集いの場			
目的	地域カフェの運営（地域の方が気軽に集える場づくり。コーヒーを通して交流をはかる。）			
年間実施回数	3回（R2.1月から毎月1回）			
人数平均	20名			
場所	ひの木幼稚園			

※「鶴見区ふれあい助成金運営要綱」 抜粋
(助成の決定)

第8条 ボランティアセンター運営規程第12条に基づき、行うものとする。ただし、新規立ち上げ事業については、配分委員会において審査せず、会長決裁とする。

②つるみ善意銀行助成金

【修繕】1月申請

NO	区分	合計	団体名	会員種別
1	修繕	100,000	東寺尾図書館	第6種
申請事業	修繕			
目的	昨年10月の台風19号による被害で、施設敷地内の階段が損壊した。			
修繕時期	2月中旬実施予定			
場所	東寺尾図書館 敷地内（施設横の階段）			

※「つるみ善意銀行運営要綱」 抜粋
(助成の決定)

第8条 ボランティアセンター運営規程第12条に基づき、行うものとする。

※ボランティアセンター運営規程 抜粋
(寄託金品の配分)

第12条 善意銀行に寄せられた寄託金品の適正配分については、委員会でその配分の具体策の検討を行う。
2 寄託金については、区社会福祉協議会事務局長（以下「事務局長」という。）が配分計画を作成し、これを委員会に諮り、その決定したところに従い、速やかに処理する。ただし、次の各号に該当するものについては会長が専決することができる。

- (1) 一件10万円以下の寄託金の配分
- (2) 緊急を要する場合の配分

質問・意見

・星野副委員長

助成総額が昨年度よりも、減額している原因はどんなことが考えられるのか。

→昨年は新規立ち上げ団体が12団体あったため、助成金配分件数も多かった。

配食活動はかなり助成額が大きいと思うがどうか。

→大野委員長

実施回数により、額が異なると思う。

→平成30年度に新制度となった際、3年おきに制度の見直しを行うこととしている。

団体は区社協の助成金活用は有効であるが、団体のより幅広い活動を推進するためにはその他の助成金を受けることもありうる。要援護者支援区分では、活動団体が増加していることもあり、助成金の額が厚くなってきている。

令和2年度 つるみ善意銀行助成金 助成区分一覧 変更点について

令和2年度 つるみ善意銀行助成金 助成区分一覧 変更点について							
主な対象	助成条件		助成 限度	予算額 (万円)	備 考		
	回数	人数					
① ●備品整備・修繕にかかる経費 緊急を要するもの 他の助成金の対象にならなかったもの	変更① 助成限度額 を10万円にし、予算 額を50万円に変更		なし	なし	20	80	<ul style="list-style-type: none"> ・本会正会員のみ対象 ・他区分との重複申請可 ※例：ゲリラ雷雨でパソコンが壊れてしまった・台風で窓ガラスが割れてしまったのでその修繕費用として申請する
変更② 令和2年度は実施しません ●障害者グループホーム・作業所立ち上げ資金 障害者グループホームや作業所など、立ち上げに関わる経費			グループホーム・ 作業所など		10	20	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、年度内に着手・完了できること ※次の条件をどちらか満たしていること ①主な構成メンバーが他団体と異なっている ②解散から2年以上経過している
会員 ●会員特典 ※本会正会員は、上限金額に1万円上乘せ					1	80	<ul style="list-style-type: none"> ・本会会員で「鶴見区ふれあい助成金」申請団体も上乘せ
						180	変更③ 予算総額を130万円に変更 (内訳：修繕50万円+会員80万円)
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 申請は、年間を通じて1回とします。 ◆ ①、②については先着順とします。 							

質問・意見

・星野副委員長

変更②に関して

障害者グループホーム・作業所立ち上げ資金はなくしてもよいのか。

→障害者支援センターでも助成金の対応を行っている。また、善意銀行の額が年々減少していることや、申請団体が近年なかったため見直しを行った。

・須佐委員

以前は、障害児者の親がグループの立ち上げを行い、区社協から助成金を受けていた。しかし、過去10年以上にわたり、立ち上げはほとんどないのではないかと。

→第3回ボランティアセンター運営委員会をもって、善意銀行助成金区分変更は承認された。

3. 善意銀行の配分預託状況について

(1) 預託配分状況について

資料 P 1 2 に基づき事務局より説明。

資料 3

3. 善意銀行の預託配分状況について						
(平成31年4月1日～令和2年1月31日)						
1. 預託金額	4月～9月		10月～1月		合計	
受付区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉	16	241,426	25	645,547	40	886,973
障害福祉	0	0	1	5,000	1	5,000
児童福祉	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0	0	0
寄付小計	16	241,426	26	650,547	41	891,973
(参考)						
	件数	金額				
30年度同時期(1月末)	53	4,307,547				
30年度末合計	64	4,765,616				
2. 31年度1月末 善意銀行残高						
30年度繰越金	17,734,008					
31年度預託金額(収入)	891,973					
利息	76					
31年度配分金(支出)	▲ 2,336,800		※1 (前年同月比▲30,000円)			
差引残高	16,289,257					
3. 31年度 配分金支出内訳について ※1						
事業名	金額					
鶴見区ふれあい助成金	●各区分団体助成：1,686,800円					
つるみ善意銀行助成金 (会員特典、備品修繕・GH立ち上げ)	●会員特典：550,000円 (鶴見区ふれあい助成金助成55団体) ●修繕：100,000円					
送迎サービス	今年度は配分なし					

質問・意見

・事務局

昨年は大口の寄付があったため、寄付総額が大きかった。昨年度は、90周年のイベントやチャリティーイベントの売上寄付が多かったことも考えられる。善意銀行のリーフレットを作成し、配分先の活動の様子を伝えることとした。今後は、更にリーフレットを用い企業へのPRを図りたい。

・星野副委員長

具体的な目標額はあるのか？事業を展開するにあたってはどれくらいの額が必要になるのか？

リーフレットの作成により、配分先の様子を見ることができ、社協が担う役割も伝わりやすい印象を受けた。近年では、災害時の支援金の寄付が増えてきている。

→支援先が明確であることも重要になっている。目標額がはっきりしているものが多い傾向にある。事業を展開していくためには、200万円前後は必要となる。

・山本委員

以前、某遊園地に障害児者と保護者で行った。鶴見区社協の助成金がないと行くことはできなかったと思う。

また、バザーを行った際に募金箱を置いたこともあった。1人でも2人でも募金の取り組みに協力してもらえるとよい。

・谷委員

毎年、善意銀行で200万円ほど支出があるが、それならばあと8年くらいで残高がなくなる計算になる。募金する人にとっては、1口100円等具体的な額があるとよい。募金を集めるための仕掛けづくりも必要。活動団体の方々には自分たちの活動だけのものでなく、他の団体の活動存続にも善意銀行が役立っていることを知ってもらおうとよい。

善意銀行の強化月間をつくるのはどうか。共同募金では、決まった時期に募金を行っている。職員のモチベーションを高めるためにもよいのでは。

→共同募金や日赤にもどのように使われているのか等の問い合わせが多い。善意銀行への取り組みを職場内で強める必要もある。また、区社協職員がイベントに参加をする際には、積極的に募金箱を持っていきお願いする方向にしていきたい。

・山本委員

地域活動では、よりよい地域にしたいという気持ちを持った人の集まりなので募金をお願いするのはよい。

・星野副委員長

共募の額も減少していると思うが、ぜひ工夫していただくと良いと思う。

(2) 寄付履歴詳細（現金）について

資料P13に基づき事務局より説明。

- (3) 物品寄付および配分先について
資料 P15 に基づき事務局より説明。

4. 令和2年度鶴見区ボランティアセンター関連事業計画（案）について 【資料4】

4.令和2年度鶴見区ボランティアセンター関連事業計画（案）について		
ボランティア等 住民活動の推進・支援		
相談・調整・登録	<p>住民からの身近な相談が寄せられる相談窓口として、専任のボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア相談への対応及びボランティア活動の促進を行います。</p> <p>関係機関や施設、地域のボランティア団体との連携も踏まえ、ボランティアセンター機能の充実・強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集依頼・活動希望者の受付 ・ボランティア活動・行事保険に関する相談 ・機材貸出の相談・受付 ・情報の収集・整理 ・福祉機材の貸出 ・記録・統計・ケース会議(ボランティアコーディネーター会議)の開催 ・多様化するニーズの分析や課題検討を目的とした内部研修を開催し、コーディネートスキルの向上を図ります。 	横浜市受託金・負担金
ボランティア講座、研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの発掘と育成を図るための講座を実施します。 ・新規および既存の登録者が継続的な活動につながるようにフォローアップの一環として、ボランティア活動者交流会を開催します。 	
ボランティア情報紙・HPの充実	<p>ボランティア情報紙「つるボラ情報」を年3回発行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：ボランティア募集情報、講座・イベント情報 など ・送付先：ボランティア登録者・地域ケアプラザ等関係機関 など <p>随時、区社協ホームページにおいて、ボランティア募集やイベント等の紹介、またボランティアセンターのPRチラシやポスターを作成しより周知を強化していきます。</p>	
食事サービス連絡会への支援	<p>食事サービス連絡会の創造性・独自性の発揮のため、円滑な自主運営の支援をしていきます。</p>	
他機関（施設・区民活動センター等）との連携	<p>より地域の実情を反映できるよう、地域ニーズの収集・分析を行い、地域ケアプラザや区民活動センター等他機関との情報交換や連携を図ります。</p> <p>区民活動センターと区福祉保健課と隔月で連絡会を開催し、情報交換を行います。</p>	
ボランティア・市民活動団体分科会	<p>ボランティア団体同士の連携を高めるため、定期的に分科会を開催します。</p> <p>なお、分科会の開催にあたっては、効率的かつ運営に主体的な参画を得られるよう、会員とともに内容を検討し実施します。鶴見区あいねっと推進フォーラムにて、「ボランティアコーナー」を設置し、会員の方々と分科会に加入されている団体の活動周知を行います。</p>	会費・分担金
ボランティアセンター運営委員会	<p>ボランティアセンター事業や善銀配分を適正に行うため、年3回程度運営委員会を開催します。</p> <p>また、より透明性を高めるため、議事録をホームページ上で公開します。</p>	ボランティア保険事務手数料
善意銀行運営	<p>善意で寄せられる金品の受付業務を行います。配分についてはボランティアセンター運営委員会により適切に行います。</p> <p>併せて、善意銀行について分かりやすく示したリーフレットの作成します。地域でのイベントでも募金箱の設置等積極的なPRを行い、善意銀行の理解を図り、寄付の確保に努めます。</p>	善意銀行寄付金
鶴見区ふれあい助成金 つるみ善意銀行助成金	<p>より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、鶴見区・横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業を行っている団体に対し、助成を行います。また、周知を強化して地域での生活支援活動や集いの場などの活動支援の充実につなげます。</p>	市社協補助金・善意銀行・共同募金配分金

つながりのある地域づくり

福祉教育の推進		
福祉教育相談・調整	地域のボランティア・地域ケアプラザなどと協働し、区内の学校や企業、一般区民の福祉理解の向上をめざします。 ・福祉教育相談 ・講師の紹介 ・福祉機材の貸出 ・福祉教育プログラムの企画・調整・実施協力 ・福祉教育通信を発信し、学校や地域の連携を深めます。	市社協補助金・会費
学生ボランティアの育成・支援	・大学の授業の一環として、ボランティア活動演習授業に協力するなど、大学生のボランティア活動の充実を図ります。 ・中・高校生のボランティア活動の支援を年間を通じて行います。	
先生のための福祉講座	市社協・教育委員会主催の講座に、市内18区社協とともに参画します。 学校等に対する区社協の支援・相談体制について周知します。	

質問・意見

・星野副委員長

発掘と育成には、より注力していただきたい。継続的なボランティアが増加することも重要。
 →現在、区役所の区民活動センターと合同で区の地域資源と人材活用に関して分析を行っている。

先日、区役所での区民会議にて、ボランティアの人材に関する横浜商科大学の学生によるプレゼンテーションがあった。社会福祉協議会のボランティアセンターの活用についても、内容が挙がっていたためぜひ検討をしていきたいと考えている。社協のボランティアセンターだけでボランティアを増やすのは難しい。

・谷委員

ケアプラザで活動するボランティアさんの中には、初めてボランティアをする方も多い。
 一方、地域ケアプラザではボランティア活動も限られるためボランティアセンターと協力することも必要となる。

生麦の地域ケアプラザでは、商店街のイベントボランティアで横浜商科大学の学生に協力してもらったことがある。鶴見区内でのお祭りに、学生によるボランティアブースを展示しボランティアを紹介してもらうのもよい。学生の力は非常に重要である。

・星野副委員長

近隣にある鶴見大学との連携は何か行っているのか？

→福祉教育に関する依頼を現在受けているので、今後関わりは増えていく予定。災害ボランティアネットワークでは、鶴見大学の教員と連携を図っている。

5. その他

今後の開催について

令和2年度第1回ボランティアセンター運営委員会の開催日時について以下の日時を提案し、承認された。 令和2年5月25日(月) 10:00~12:00